

令和6年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

中学校（家庭）問題

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。

注 意

- 1 この問題は6問4ページで、時間は60分です。
- 2 解答用紙は、別紙で配布します。「始め」の合図で始めてください。
- 3 解答は、それぞれの問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 4 「やめ」の合図があったら、すぐやめて係の指示に従ってください。
- 5 解答用紙を持ち出してはいけません。

1

次の(1), (2)に答えよ。

- (1) 次は, 中学校学習指導要領「第2章 第8節 技術・家庭」の〔家庭分野〕「2 内容」の一部である。①～⑤にあてはまることばを, それぞれ記せ。なお, 同じ番号には同じことばが入るものとする。

A 家族・家庭生活

(3) 家族・家庭や地域との関わり

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 家族の互いの立場や(①)が分かり, (②)することによって家族関係をよりよくできることについて理解すること。

(イ) 家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり, 高齢者など地域の人々と(③)する必要があることや(④)など高齢者との関わり方について理解すること。

イ 家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり, (③)する方法について考え, (⑤)すること。

- (2) 中学校学習指導要領解説 技術・家庭編「第1章 総説」の「2 技術・家庭科改訂の趣旨及び要点」に記載されている「生活の営みに係る見方・考え方」には, 生活事象を捉える視点が示されている。このうちの2つを記せ。

2

次の(1)～(6)に答えよ。

- (1) 表は, 就学前の子どもの教育・保育の場の違いについてまとめたものである。①～③にあてはまることばを, それぞれ記せ。

表

教育・保育の場	内 容	管 轄	根拠法
保育所	就労等のため家庭で保育のできない保護者に代わって保育する施設	(①)	児童福祉法
幼稚園	小学校以降の教育の基礎をつくるための幼児期の教育を行う施設	文部科学省	(②)
認定こども園	教育・保育を一体的に行い, 幼稚園と保育所の両方の機能を併せもつ施設	(③) ※	認定こども園法

※ 保育所と幼稚園の管轄省庁とも関わりがある。

- (2) 認定こども園には, 就学前の子どもに幼児教育・保育を提供する機能の他に, どのような機能があるか, 簡潔に記せ。

- (3) 表の教育・保育の場以外に、「子ども・子育て支援新制度」（平成 27 年 4 月スタート）で新たにできた、保育所（原則 20 人以上）より少人数の単位で 0～2 歳の子どもを保育する事業がある。この事業の名称を記せ。
- (4) 「子どもの権利条約」は、1989 年に国際連合総会で採択された、子どもの人権に関する世界で最初の国際的な条約である。この条約では、大きく分けて 4 つの権利が示されているが、「参加する権利」以外の 3 つの権利を記せ。
- (5) 次は 1951 年に制定された「児童憲章」の前文の一部である。文中の①～③にあてはまることばを、それぞれ記せ。

児童は、(①) として尊ばれる。
 児童は、(②) の一員として重んぜられる。
 児童は、よい (③) の中で育てられる。

- (6) 子育てに関する「ネウボラ」という制度は、どこの国で発祥したか記せ。また、どのような制度か、簡潔に記せ。

3

次の (1) ～ (4) に答えよ。

- (1) 2022 年 4 月から成年年齢が 18 歳に引き下げられた。次の①～⑤について、18 歳でできるようになったことをすべて選び、記号で記せ。
- ① 大型・中型自動車運転免許を取得する ② クレジットカードをつくる
 ③ 医師免許、薬剤師免許などの国家資格を取る ④ 競馬などの公営競技の投票券を買う
 ⑤ 一人暮らしの部屋を借りる
- (2) クレジットカードとは異なり、商品・サービスの提供を受けると同時に、銀行口座から代金が引き落としされるカードの名称を記せ。
- (3) 次の①、②の販売方法においては、契約した日から何日間であればクーリング・オフができるか、それぞれ記せ。
- ① 連鎖販売取引 ② 訪問販売
- (4) クーリング・オフができない販売方法の名称を記せ。また、その理由を簡潔に記せ。

4 次の(1)～(3)に答えよ。

(1) 次の①～④はどの府県で見られる住居か、下のア～オからそれぞれ一つ選び、記号で記せ。

- ① 雁木造り ② くど造り ③ 舟屋 ④ 南部曲り屋

ア. 佐賀県	イ. 岩手県	ウ. 京都府	エ. 新潟県	オ. 岐阜県
--------	--------	--------	--------	--------

(2) 経済産業省, 国土交通省, 環境省が連携して推進している「ZEH」とはどのような住宅か, 簡潔に記せ。

(3) 夏に快適な住まいを作るポイントを簡潔に記せ。

5 次の(1), (2)に答えよ。

(1) 表はビタミンの種類と特徴をまとめたものである。下の①～⑤に答えよ。

表

種 類	主なはたらき	多く含む食品
ビタミンA	X	a
ビタミンB ₁	エネルギー発生, 代謝に必要, 神経の調節	b
ビタミンB ₂	発育促進, 代謝に必要	レバー, 卵黄, 牛乳
ビタミンC	細胞間組織の強化, 抵抗力の向上	c
ビタミンD	Y	d
ビタミンE	細胞膜の機能維持, 抗酸化作用	e

① 表のX, Yにあてはまる主なはたらきをそれぞれ記せ。

② 表のa～eにあてはまる食品の組合せを下のア～カからそれぞれ一つ選び、記号で記せ。

ア. 野菜, くだもの, いも	イ. 海藻, 野菜, 種実類
ウ. レバー, うなぎ, 野菜, 卵黄	エ. 卵黄, 青魚, 干しいたけ
オ. 植物油, 野菜	カ. 豚肉, 玄米, 豆

③ 表のビタミンのうち、脂溶性ビタミンを、すべて記せ。

④ 次のア～エの欠乏症は、表のどのビタミンが欠乏したときに起こるか、それぞれ記せ。

ア．口内炎，口角炎 イ．夜盲症 ウ．壊血病 エ．脚気

⑤ 胎児の神経管障害の低減のため、妊婦が積極的に摂取するとよいビタミンを記せ。ただし、表にあるビタミン以外で答えよ。

(2) 食物アレルギー症状を引き起こすことが明らかになった原因物質について、特に発症数や重篤度から勘案し、表示が義務付けられているものを「特定原材料」といい、8品目ある。このうち、落花生(ピーナッツ)、くるみ、乳、えび、かに以外の品目を、3つ記せ。

6

中学校学習指導要領解説 技術・家庭編 の家庭分野「B 衣食住の生活」の内容について、次の(1)、(2)に答えよ。

(1) (4)「衣服の選択と手入れ」の中で、衣服の状態に応じた日常着の手入れとして例示されている補修のうち、小学校家庭科では学習しないものを、2つ記せ。

(2) (5)「生活を豊かにするための布を用いた製作」を扱う際、製作の計画や材料の選定にあたり配慮すべき事項について、具体例を示しながら、簡潔に記せ。

中学校家庭 解答例

1	(1)	①	役割	②	協力	各2点	
		③	協働	④	介護		
		⑤	工夫				
(2)	協力・協働 健康・快適・安全		生活文化の継承・創造 持続可能な社会の構築		各2点		
2	(1)	①	厚生労働省	②	学校教育法	各2点	
		③	内閣府				
	(2)	地域における子育て支援を行う機能（すべての子育て家庭を対象に，子育て不安に対応した相談活動や，親子の集いの場の提供などを行う機能。）				2点	
	(3)	地域型保育				2点	
	(4)	生きる権利		育つ権利		各2点	
		守られる権利					
	(5)	①	人	②	社会	各2点	
③		環境					
(6)	国名	フィンランド				2点	
	妊娠期から就学前まで，同じ担当者が継続的に，子どもだけでなく，家族全体をサポートする制度。					2点	
3	(1)	②，③，⑤		(2)	デビットカード	各2点 (1) 完全解答	
	(3)	①	20日間	②	8日間	各2点	
	(4)	販売方法：通信販売（ネットショッピング，TVショッピング，カタログ通販等）					2点
		理由：消費者が前もって広告や画面等を確認し，自発的に申込みをする不意打ち性のない取引のため。					2点

4	(1)	①	エ	②	ア	各2点
		③	ウ	④	イ	
	(2)	外皮の断熱性能などを大幅に向上させるとともに、効率的な設備システムの導入により、室内空間の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支がゼロとなることを目指した住宅。				3点
	(3)	昼間、家全体の日射熱を遮り、室内の温度をできるだけ上げないこと。また、換気により室内の熱を屋外へ排出する排熱と、冷房を切っている時は通風により涼をとることがポイントである。				3点
5	(1)	①	X	発育促進 または 皮膚・粘膜の健康維持		各2点
			Y	骨の成長促進 または リン・カルシウムの吸収調節		
	②	a	ウ	b	カ	各1点
		c	ア	d	エ	
		e	オ			
	③	ビタミンA, ビタミンD, ビタミンE				2点(完全解答)
	④	ア	ビタミンB ₂	イ	ビタミンA	各2点
		ウ	ビタミンC	エ	ビタミンB ₁	
	⑤	葉酸				2点
	(2)	小麦		そば		各2点
卵						
6	(1)	まつり縫い		スナップ付け		各2点
	(2)	着用されなくなった衣服を他の衣服に作り直す, 別の用途の物に作り替えるなどの再利用の仕方を考えたり, 色や柄の異なる複数の布を組み合わせて布の無駄のない使い方を考えたりして, 資源や環境に配慮すること。				3点